

平成28年6月10日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標題 ICTを活用した『GPS搭載田植機』の実演会開催！

(ダイジェスト)

6月9日、斐川町出東地区で、JAしまね斐川地区本部主催による、GPSを搭載した直進時自動操舵機能付田植機の実演会が開催され、担い手農家や関係者約30名が参加しました。

実演会では、メーカーによる田植機の説明やデモ走行また、担い手農家による試乗も行われました。

出雲市斐川町では、昨年度からGPSの活用や水田センサの設置などICTを農業部門に活用する取り組みが行われています。このたび、斐川町出東地区の(株)勝部農産が経営している水田でGPSを搭載した直進時自動操舵機能付田植機の実演会が開催され、町内の土地利用型担い手農家や関係者約30名の参加がありました。

この田植機は植え始め1工程に直進方向の基準線を登録しておけば、次の工程からは、ハンドルを握らなくとも、基準線に対して平行に走行する直線キープ機能を備えており、「真っすぐに植えなければ」というストレスから解放されるなど、農業の高精度化、省力化が期待されるものです。

実演会では、機械メーカーから自動操舵機能の説明があり、その後メーカーのデモ走行、(株)勝部農産職員や参加された担い手による試乗も行われ、試乗された方からは、「非常にラクで楽しかった。」という声も聞かれました。

出雲圏域では、第3期活性化プラン「出雲地方水田農業維持・発展モデル育成PJ」の中で生産コスト低減に向けた調査・推進を行うこととしており、今後も情報収集に努めるとともに、その普及を図ることにしています。



苗載せ台の上にGPS受信部設置

手放し運転で楽々！